

世界史 感染症の歴史 確認問題集

全19問 / 解答・解説は後半

名前

記事「世界史 感染症の歴史まとめ | 黒死病・天然痘・コレラと社会の変化」を読んだあとに解く問題集です。答えを書いてから後半の解答・解説で確かめ、間違えた問題は解説にある記事の節を読み直してください。

第1部 一問一答

問いに当てはまる語句を答えなさい。

- 1 前431年に始まった、アテネを中心とするデロス同盟とスパルタを中心とするペロポネソス同盟の戦争は何か。

- 2 14世紀、ユーラシアの東西を結ぶ交通をさかんにし、黒死病が広がる背景となったとされる国は何か。

- 3 黒死病が広がる途中で達した、黒海沿岸の半島はどこか。

- 4 ワット＝タイラーの乱で「アダムが耕しイヴが紡いだとき、だれが貴族であったか」と説いた聖職者は誰か。

- 5 1348年のペストを逃れて郊外に集まった男女10人が物語を語り合うという設定の、ボッカチオの作品は何か。

- 6 1521年にアステカ王国を征服したスペインの征服者は誰か。

- 7 先住民への虐待を告発し、結果としてアフリカから黒人奴隷が求められる一因ともなったスペインの聖職者は誰か。

- 8 ジェンナーの種痘法より前に行われていた、天然痘患者のうみを健康な人に植える予防法を何というか。

- 9 1890年に北里柴三郎とともに血清療法を発表したドイツの学者は誰か。

10 1928年にフレミングが発見し、1940年代に実用化された最初の抗生物質は何か。

第2部 正誤問題

次の文ア～エのうち、誤っているものを1つ選びなさい。

11 黒死病と中世ヨーロッパ社会について。

- ア 黒死病は、黒海沿岸から地中海の港を通じてヨーロッパに広がった。
- イ 黒死病で人口が減ると、労働力が不足して賃金が上がった。
- ウ 黒死病のあと、農民の地位は低下し、領主の支配が強まった。
- エ 1381年、イギリスで人頭税への反発からワット＝タイラーの乱が起きた。

12 16世紀のアメリカ大陸について。

- ア アメリカ大陸には、もともと天然痘がなかった。
- イ 先住民の人口が激減した原因は、持ち込まれた感染症だけである。
- ウ エンコミエンダ制のもとで、先住民は鉱山や農園で酷使された。
- エ 先住民の人口激減による労働力不足は、黒人奴隷の導入につながった。

13 近代の医学者と業績について。

- ア ジェンナーは、牛痘を用いた種痘法を試みた。
- イ パストゥールは、狂犬病のワクチンを人に接種した。
- ウ コッホは、結核菌とコレラ菌を発見した。
- エ 北里柴三郎は、コレラ菌を発見した。

14 19～20世紀の感染症と対策について。

- ア コレラは、インドのガンジス川下流域の風土病だった。
- イ イギリスでは、1848年に公衆衛生法が制定された。
- ウ スペインかぜは、スペインで発生したことが確かめられている。
- エ WHOは、1980年に天然痘の根絶を宣言した。

第3部 年代の並べ替え

次のア～エを、古いものから年代順に並べなさい。

15 感染症の流行を年代順に並べなさい。

- ア 黒死病がヨーロッパに広がった。
- イ ユスティニアヌス帝の時代にペストが流行した。
- ウ アテネで疫病が流行した。
- エ スペインかぜが世界的に流行した。

16 14世紀から16世紀の出来事を年代順に並べなさい。

- ア ワット＝タイラーの乱が起きた。
- イ コルテスがアステカ王国を征服した。
- ウ 黒死病がシチリア島に上陸した。
- エ ジャックリーの乱が起きた。

17 医学の発達に関する出来事を年代順に並べなさい。

- ア コッホが結核菌を発見した。
- イ フレミングがペニシリンを発見した。
- ウ ジェンナーが牛痘による種痘を試みた。
- エ 北里柴三郎とイエルサンがペスト菌を発見した。

第4部 論述問題

次の問いに答えなさい。字数は目安です。

18 14世紀の黒死病が西ヨーロッパの封建社会に与えた影響を、農民の地位の変化にふれながら120字程度で説明しなさい。

19 16世紀のアメリカ大陸で先住民の人口が激減した原因と、それが大西洋をまたぐ人の移動に与えた影響を、150字程度で説明しなさい。

.....

世界史 感染症の歴史 確認問題集 解答・解説

第1部 一問一答

1 ペロポネソス戦争

開戦の翌年、籠城中のアテネ市内で疫病が流行し、前429年には指導者ペリクレスも亡くなりました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／古代

2 モンゴル帝国

人や物の動きとともにペストも西へ広がったと考えられています。ペストは黒海沿岸から地中海の港を通じてヨーロッパに入りました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／14世紀

3 クリミア半島

そこからイタリア商人の船などで地中海の港へ運ばれ、1347年にシチリア島に上陸しました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／14世紀（図解2）

4 ジョン＝ボール

身分の平等を訴えました。反乱は鎮圧されましたが、イギリスで農奴の解放が進むきっかけの一つになりました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／14世紀

5 デカメロン

黒死病が文化に残した影響の例です。生者と骸骨が踊る「死の舞踏」も、ペストと結びついて美術の題材になりました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／14世紀

6 コルテス

インカ帝国を滅ぼしたのはピサロ（1533年）です。征服のあと、天然痘などの感染症や強制労働で先住民の人口が激減しました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／16世紀

7 ラス＝カサス

先住民人口の激減による労働力不足と、こうした告発が重なって、代わりの労働力として黒人奴隷が運ばれるようになりました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／16世紀

8 人痘接種

本物の天然痘を発症させる危険がありました。ジェンナーは牛痘を用いることで、安全な予防法を確立しました。

記事の該当箇所：比べて覚える（天然痘対策の3段階）

9 ベーリング

北里は1889年に破傷風菌の純粋培養に成功し、その研究をもとに血清療法を発表しました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／19世紀後半

10 ペニシリン

フローリーとチェーンが分離と治療への応用に成功し、広く使われるようになりました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／20世紀

第2部 正誤問題

11 ウ

労働力不足で農民の地位は上がりました。領主が支配を強め直そうとした（封建反動）ことに農民が反発し、反乱が起きたという順番です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／14世紀、入試で狙われるポイント

12 イ

感染症に加えて、エンコミエンダ制による酷使や、征服にともなう殺戮・破壊も原因です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／16世紀

13 エ

北里柴三郎の業績は、破傷風菌の純粋培養、血清療法、ペスト菌の発見です。コレラ菌の発見はコッホです。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／19世紀後半（人物の表）

14 ウ

スペインかぜの発生地はアメリカとする説などが有力で、スペインで始まったわけではありません。第一次世界大戦中の兵士の移動で世界に広がりました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／20世紀

第3部 年代の並べ替え

15 ウ→イ→ア→エ

アテネの疫病（前430年）→ユスティニアヌス帝時代のペスト（6世紀）→黒死病（14世紀）→スペインかぜ（1918～19年）の順です。

記事の該当箇所：まず全体像（年表）

16 ウ→エ→ア→イ

黒死病の上陸（1347年）→ジャックリーの乱（1358年）→ワット＝タイラーの乱（1381年）→アステカ王国の征服（1521年）の順です。

記事の該当箇所：まず全体像（年表）

17 ウ→ア→エ→イ

種痘（1796年）→結核菌（1882年）→ペスト菌（1894年）→ペニシリン（1928年）の順です。

記事の該当箇所：まず全体像（年表）

第4部 論述問題

- 18 解答例：東西交通を通じて広がった黒死病で人口が大きく減ると、労働力が不足して賃金が上がり、農民の地位が向上した。領主は賦役の復活などで支配を強め直そうとしたが、農民はこれに反発してジャックリーの乱やワット＝タイラーの乱を起こし、封建社会の動揺が進んだ。

採点のポイント：①人口の減少と労働力不足、②賃金の上昇と農民の地位向上、③領主の支配強化（封建反動）、④農民反乱の具体名、⑤封建社会の動揺、が入っているか。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／14世紀、論述で使える要点

- 19 解答例：スペインの征服後、ヨーロッパから持ち込まれた天然痘などの感染症が、免疫のない先住民の間で流行した。さらにエンコミエンダ制のもとで鉱山や農園での酷使が続き、先住民の人口は激減した。労働力不足を補うため、ラス＝カサスらの告発も重なってアフリカから黒人奴隷が運ばれ、砂糖プランテーションの拡大とともに大西洋奴隷貿易が広がった。

採点のポイント：①感染症（天然痘・免疫がない）、②エンコミエンダ制による酷使、③労働力不足、④アフリカからの黒人奴隷と大西洋奴隷貿易、が入っているか。原因を感染症だけにしないことが大切です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／16世紀、論述で使える要点

記事：世界史 感染症の歴史まとめ | 黒死病・天然痘・コレラと社会の変化 <https://lawcityblog.com/sekaishi-theme-kansensho/>
問題・解説は文系ラボのオリジナルです。無断転載を禁じます。